

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	火災安全設計小委員会	主 査 名：松山 賢 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：萩原一郎
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	性能的火災安全設計法に関する技術基盤の整備と普及・啓蒙を行う。 初年度：「火災安全設計の原則」フォローアップ、性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行う。 2 年度：初年度に抽出した項目に関する課題整理	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：松山賢 (東京理科大学) 幹事：城明秀 (竹中工務店)、山口純一 (大林組) 委員：大宮喜文 (東京理科大学)、北堀純 (明野設備研究所)、許 雷 (東北工業大学)、田村祐介 (エフディーエム)、土屋伸一 (明野設備研究所)、野竹宏彰 (清水建設)、萩原一郎 (東京理科大学)、原田和典 (京都大学)、福井潔 (日建設計)、北後明彦 (神戸大学)、峯岸良和 (竹中工務店)、	
設置 WG (WG 名：目的)	火災荷重・設計火災性状 WG：2013/3 に刊行した「火災荷重・設計火災性状指針(案)」について、フォローアップとさらなる検討を行い改定版発行に向けた予備検討を行う。 火災性状予測計算ハンドブック WG：2018 年 3 月に刊行した「火災性状予測計算ハンドブック」のフォローアップをする。 「デザイナーのための建築火災安全入門」出版準備 WG：建築意匠設計者を対象として建築火災安全に関する基礎知識の習得を目的とした著書の出版準備を行う。	
2018 年度予算	250,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm">http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」
講習会	1. 講習会「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」 <span style="float: right;">参加者数 113 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 火災安全設計小委員会 (目標一部未達成) ・性能的火災安全設計の技術基盤として必要な項目の抽出を行った。 ・火災安全性能表示に関して、フレームワークの検討、課題抽出を行った。 ・「火災安全設計の原則」フォローアップは上記検討が重複する部分が多いため、具体の検討は行わなかった。 ・2019 年大会 OS を提案した。 2. 火災荷重・設計火災性状 WG (目標達成) ・WG を 6 回開催し、2021 年 3 月に火災荷重・設計火災性状指針を改定するための検討を行った。また、出版済みの指針案の正誤表を HP で公開した。 3. 火災性状予測計算 WG (目標達成) ・WG は開催せず、通信による審議を行った。3 月に行った講習会のフォローアップ (正誤表の作成、将来改訂に向けたデータの集積) を行った。 4. 「デザイナーのための建築火災安全入門」出版準備 WG (目標達成) ・「建築火災安全設計の考え方と基礎知識」を刊行し、講習会を行った。
委員会活動の問題点・課題	なし